

## 熱川温泉病院 小林 利恵(病棟師長)

|         |   |
|---------|---|
| 功 績     | 新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に際し、師長として最前線で対応。早期に感染を抑え込むことに成功した功績。  |
| 推 薦 者   | 宮本 純代(看護部長)   |
| 推 薦 理 由 | 当院で初めてのクラスターが発生しましたが、感染拡大を最小限に抑え早期に収束することができました。これは被推薦者が病棟の責任者として残ったスタッフのやる気を引き出し、他部署の協力を得ながらも頑張ってくれたお陰だと思えます。是非理事長賞にご推薦申し上げます。 |

### 内 容

---

3月15日、8階病棟で入院患者さんの新型コロナウイルス罹患が判明し、最終的に患者11名と職員7名が陽性となりクラスターと認定されました。そのため、陽性者や濃厚接触の職員が続出し、人員の確保が困難になりました。残った職員は感染に注意し、緊張しながら連勤で業務にあたり、肉体的・精神的に厳しい環境に置かれました。

師長の小林は健育会本部の指導を仰ぎながら、病棟をゾーニングし感染管理を徹底。疲労しながら頑張る職員を鼓舞しつつ、クリーニングが回らないため他職種の制服を使用することになったことも楽しんでみせて周りをリラックスさせました。また個々の職員の意見を集約し、困っていることを速やかに改善しモチベーション維持に努めました。その結果、他病棟・リハビリスタッフの応援や休養していた職員が復帰するまでの間、病棟機能を継続することができました。

3月22日以降、陽性者の発生はなく、4月8日にクラスター収束となりました。「頑張ってくれた病棟スタッフ、応援に来てくれた皆さんのおかげです」と小林は感謝の気持ちを表します。病棟師長としてスタッフをまとめ上げクラスターに立ち向かい、早期収束に大いに貢献してくれました。